

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab + Durvalumab + PEM + CDDP療法(short hydration)

3週毎 4コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1
イジユド(トレメリブマブ)	75 mg/body	↓
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m ²	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓

- 【注意】 *他剤併用時はトレメリムマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 *トレメリムマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用して投与すること
 *体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること
 *一日の尿量が3000mL以上になるように調整すること
 *シスプラチンは遮光のこと
 *治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500mLを1日2本飲水すること
 *ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g分1で内服開始^{注1}
 *ペメトレキセド投与の7日以上前より

メテコパール中500 μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)^{注2}

注1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日まで可能な限り投与する。

注1:投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。

*4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
 ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能

◎メインの生食でフラッシュ

③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能

④ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)

⑤ グラニセトロン注3 mg+デキサメタゾン注9.9 mg(3 mL)+生食20 mL 側管静注

◎メインの生食でフラッシュ

⑥ ペメトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑦ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注30分(400 mL/時間)

⑧ シスプラチン + 生食300 mL 点滴静注120分(240 mL/時間)

*生食200 mLをバッグから前もって抜いておく

⑨ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day2,3 アプレピタントカプセル(80 mg)1Cap 1×朝 内服

day2-4 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	1コース day1	2コース day1	3コース day1	4コース day1
月日	/	/	/	/
イジウド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
イミフィンジ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				